

令和5年度 奈良県立御所実業高等学校 学校評価計画表

【高等学校用】

年度	令和5年度（中期計画2年目）
本校の使命（スクール・ミッション）	「ものづくりは人づくり・夢づくり」を基本テーマとし、「ものづくりを通して喜びや達成感を味わい、総合的な人間力を土台にし、さまざまな分野で活躍できる社会人・職業人の育成
年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 学力の向上に向けて、授業の充実と主体的な学習習慣の育成を図る 2 規律ある生活習慣を育成する 3 健全な心身の発達に努め、勤労を尊重する精神を高揚する 4 地域との連携を図り、文化・防災の拠点となる学校を目指す

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針（スクール・ポリシー）	<p>入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）</p> <p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 基礎的な学力が身につけており、学習に対して前向きな生徒 3 自ら考え、自ら行動できる生徒 4 人間尊重の精神を持ち、社会貢献の意識が高い生徒 5 ものづくりに興味・関心を抱き、専門分野の知識や技能、技術の修得に意欲的な生徒 <p>教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）</p> <p>本校では「ものづくり」を通して、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、変化する社会に積極的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人一人の興味・関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 「資格取得」を目標に、生徒一人一人の学習意欲を喚起し、個に応じた指導により、わかる授業を展開します。 3 実習を通して、職業人として必要な知識や技能を身につけるとともに、人間力を養い、生きる力を育成します。 4 課題研究により、自ら課題を発見し解決する能力と創造力を養い、プレゼンテーション力を育成します。 5 ルールを守ることと規範意識を構築し、社会人としての資質を習得する態度を養います。 6 部活動、特別活動、自主活動を推進し、健やかな心身と人間力を育みます。 <p>育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）</p> <p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ものづくりを通して得た知識や技能、コミュニケーション力を実社会で活用することができる。 2 他者と協力し、協調性をもって物事に取り組む姿勢が身につけている。 3 ものづくりに対し、創造力が豊かで、積極的に貢献し学び続けようとする態度ができてくる。
-----------------	--

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標（A）	計画期間における具体的目標（B）	令和5年度末の目標値等（C）	令和5年度末の状況（D）	自己評価（E）	学校関係者評価（F）	改善方策（G）
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	望ましい運動習慣の確立	体育の授業以外での運動を習慣づける。	1日20分以上週4日行う割合50%以上。				
	望ましい食習慣の確立	食育教育を通して朝食摂取率を上げる。	毎日の朝食摂取率65%以上。				
	望ましい読書習慣の確立	朝読などを通して読書習慣を促す。	週に30分以上読書を行う割合25%以上。図書室の年間入室者数2,000人以上、年間貸出冊数350冊以上。				
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	基礎学力の定着	わかりやすい授業を展開する。	授業アンケートにおける生徒の授業における満足度85%以上。				
	オンライン教育の推進	ICTを活用した教育を充実させる。	授業のためのICT活用能力を高める教員研修年間2回以上。				
	資格検定対策講座への参加の推進	資格検定対策講座の充実を図る。	資格検定合格率60%以上。				
	学校における働き方改革の推進	勤務時間を意識した業務の効率化を実現するとともに、ワークライフバランスを推進する。	長期休業中の定時退校実施及び超過勤務時間減少。 教職員のストレスチェックにおける【総合健康リスク】県平均値以上。				
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ参加人数の向上を目指す。	インターンシップ参加率50%以上。				
	産業界との連携の推進	企業との連携事業件数を増やす。	協力企業との連携事業件数15件以上。				
	キャリア教育の推進	キャリアパスポートを活用したキャリアプランニング能力向上HRを展開する。	キャリアパスポート等を活用したキャリアプランニング能力向上HRの各学年の年間HR時数15時間以上。進路や将来について考える生徒アンケートで肯定的回答80%以上。				
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	コミュニティ・スクールを充実させる。	学校運営協議会を年間2回以上開催。委員と学校の現状と課題を共有し、連携した教育活動を実践。				
	地域の活性化	地元伝統行事への参加。	生徒会活動等を中心とした地域の伝統行事への参加回数、年間5回以上。 ボランティア活動に関わる生徒アンケートで肯定的回答70%以上。				
	地域の美化	HRや通学路清掃を通して地域の美化に貢献する態度を養う。	美化委員会活動等を中心とした清掃活動の実施、年間3回以上。 清掃活動や環境美化に関わる生徒アンケートで肯定的回答70%以上。				
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の充実	HRや講演会、フィールドワークにおける人権教育を充実させる。	人権教育HR・講演会の各学年における実施回数年間5回以上。 人権や命の大切さに関わる生徒アンケートで肯定的回答90%以上。				
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	いじめの未然防止・早期発見・早期対応・再発防止。	いじめアンケートの年間2回以上の実施。 人間関係や教室環境に関わる生徒アンケートで肯定的回答90%以上。				
	特別支援教育の推進	SCを有効活用し、悩み解消に努める。 個別の支援教育や指導計画の実効性ある活用。	SCの継続的・効果的カウンセリングを実施するとともに、SCと連携し生徒理解に努める。 教員の生徒理解に関する生徒アンケートで肯定的回答90%以上。 生徒情報を共有するために、支援教育推進委員会を月1回以上開催し、個別の支援教育や指導計画を実効性のあるものにする。				

A:目標値以上 B:目標値の75%以上 C:目標値の50%以上 D:目標値の50%未満

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--